

社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)レビューシート

団体名: 特定非営利法人循環生活研究所

訪問調査日: 2014年9月5日(金)

評価大項目(分類)	評価中項目	絶対評価コメント	達成率
I. 組織ミッション(社会的使命)と事業の推進	[1] 組織ミッション(社会的使命)の確立	組織ミッションは、定款やホームページ、事業で行う講座で配布する印刷物等、多様なツールを使って周知が工夫されている。非営利組織としての位置付けが定款・決算書類・会報誌・入会申込書から確認できる。組織ミッションを達成するために多様な事業である講座、イベント、学校や行政との協働事業の運営が確認できる。	19/24 達成率 79%
	[2] 組織ミッションと事業の策定	メンバーとともに中長期ビジョンを策定する機会とビジョンをイメージ化したものは備えているが計画書としては策定されていない。単年度事業計画は理事会・総会において審議・決議され、閲覧可能な状態にある。単年度計画の策定プロセスが明確にルール化されており、27事業の各メンバーが積極的に策定に参加している状況を聞き取ることができた。	
II. 組織と経営管理	[1] 意思決定機関とガバナンス	意思決定機関として理事会・総会を設置し、予算・事業計画及び決算・事業報告等の審議が行われ、承認されている状況が議案書・議事録から確認できる。役員の担当事業分掌を明確に定めている等、ガバナンス体系が確立されている状況を確認できた。理事が行政の法改正等説明会に参加する他、経営環境の把握と法令遵守の取組みのため第三者を迎えた検討委員会があることを聞き取ることができた。正会員数(社員)が多いなか、総会の開催が適切におこなわれている状況を聞き取ることができた。法人監事による内部監査が適切に行われている状況を監査報告書からも確認することができる。	39/43 達成率 90%
	[2] 適切な財務計画と執行・管理	経営(事業)計画書をもとに執行状況が定期的に把握・管理されている様子を文書で確認することができた。多様な自主事業・行政からの委託事業等・会費等、多様な財源により運営されている。経理専門職の資格と経験を有するスタッフが、税制に関する組織的状況の把握を行い納税等適切に行っている状況を聞き取ることができた。	
	[3] 職員と労働環境	職員の労働環境に関しては、労働契約書を取り交わし、契約に基づいて職制ごとの管理が行われている状況を聞き取ることができた。体系的・専門的な研修により、スタッフの個別状況に応じた人材育成・配置を行っていることを聞き取ることができた。人材育成については、長期計画に基づいて取り組まれている状況を確認できた。	
III. 事務局の執行体制と管理	[1] 組織・事務局体制の確立	法人事務所において事務局を設け、ホームページおよび印刷物に記載した開所日時・時間帯に則った営業日中の電話対応および来客対応が行われている状況を聞き取ることができた。所轄官庁への届け出等、法人として必要な手続きは適切に行われ、直近の法人登記事項が事務所で確認できる。	27/31 達成率 87%
	[2] 会計全般	経理処理に関するルールが定められ、日計等の管理が適切に行われている状況を聞き取ることができた。会計規則等の管理規程が定められるとともに運用されており、経理専門職スタッフが運用の確認・担当者の人材育成を行っているとの説明を受けた。	
	[3] 事業を推進するための体制やルール	事業計画に基づいた事業が実施され、意思決定機関で定期的に審議を行いながら発展的に事業に取り組んでいる状況を聞き取ることができた。事業実施の成果等を多様なステークホルダーと共有するため、定期的な会議を行っている。各事業の執行については、明確な執行ルールによって運営されている。ソーシャルネットワーク(SNS)での事業進捗の公開の他、事業ごとにノートを作成し、これを法人事務所内で閲覧できるようにすることで共有および評価を受けていると説明を受けた。	
IV. 社会資源の活用	[1] 社会資源(企業/行政/市民など)の連携と活用	法人として、企業および学生・海外からといった多様なボランティアを受入れ、インターンシップ他、新人研修を行う等の継続的な実績があることを聞き取ることができた。大学・NPO・NGOとの同セクターおよび企業セクターとの協働を行っている他、行政とも実績がある。直近の2年間で市民からの寄付の実績があることを聞き取ることができた。	15/16 達成率 93%
V. 情報の公開と社会的信頼	[1] 情報の公開	法人の情報は、法人ホームページやSNS、広報誌「循環生活人」で公開されている。事業についての活動報告も定期的に情報更新がなされている。	18/18 達成率 100%
	[2] 第三者による評価	行政から活動に対する表彰実績があり、協業事業を多数行っている。セブンイレブン財団、ふくおか環境財団、環境市民ファンド基金から助成金を受けた実績がある。また、新聞・ラジオ・テレビ等、複数のメディアに取り上げられており、地域づくり総務大臣賞を受賞した表彰状を確認することができた。	
VI. 組織のリスクマネジメントと社会的責任の追求	[1] 組織のリスクマネジメント	重要書類およびデジタルデータの保管等は、管理規定を策定し、取扱者を限定して管理している状況が確認できた。個人情報保護に関する取り扱い規定は策定されていない。事業・活動に対するリスク管理は保険加入はもとより、事前打ち合わせや説明会の機会を設けていることが聞き取れた。リスクマネジメント等の研修会に参加し、スタッフ・会員への教育にも取り組んでいる。	14/18 達成率 77%
	[2] 組織の社会的責任の追求	行政の設ける委員会の委員および他団体理事の就任依頼に積極的に応え、市民ディスカッションの場へも参加している状況を聞き取ることができた。環境的持続性が団体の基本理念にあるため、常に効果を検証しながら取り組みを続けていることが確認できた。	
<p>当法人は、コンポストの取組みを始めて50年の実績と経験を持ち、循環生活を実践・普及・研究開発する団体です。堆肥化を地域で普及する所属アドバイザーはアジアで200名。27の自主事業とその講座を年間400回開催するなど、多様かつ積極的な活動を行っています。団体の理念に賛同する多くの正会員、事業パートナー、支援者、市民といった多様な人々とつながり、「循環する暮らし」「安全な食」から持続可能な社会のあり方を考える活動を続けています。11年間活動を行っている菜園講座や取り組み6年目の半径2km圏内の資源循環「小さな循環ファーム事業」を推進しています。</p> <p>本法人は、コンポスト(生ごみ等の有機物を発酵させ、植物の成長に資する形に変える循環の仕組み)事業を柱に、循環する生活を実現するための多様な事業を実施されています。事業数27・関連講座の開催数が年間400回を超えるなど、事業を推進する役員および関係者の積極的な実績とともに、愛称「じゅんなまけん」として地域で親しまれていることが伺えます。多数の事業を実践していく過程で工夫されてこられたチームビルディング力、行動目標の見える化、人材育成への取組みには独自性があります。アジアのNGOとの連携、他NPOとのネットワークづくり等、国際的・全国的に実施されてきた取組みは、高い評価が得られるものと見受けられます。</p> <p>出入りする子どもたち(愛称「じゅんたま」と共に100年NPOを目指していただくことを期待し、本社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)において認証しました。</p>			132/150 総合達成率 88%